

のばこども つうしん 通信

発行：社会福祉法人 和枝福祉会
のばこども家庭支援センター
横浜市港南区野庭町631
発行責任者：古川 美帆

令和4年10月 第33号

のばこども家庭支援センターは18歳未満の児童に関する相談を受ける児童福祉法第44条の2で規定されている児童家庭支援センターです。

コロナ禍で過ごす3回目の夏休みが終わりました。近年、夏休み明けの学校再開の時期にこどもの自殺が増えることが厚労省のデータからも知られています。（2020年、自殺した児童や生徒は初めて400人を超え、小中学生の不登校は19万人以上と、いずれも過去最多となったことをご存じのことと思います。）私的には以前は防災の日という認識でしたが、仕事柄か最近は夏休み明け、特に9月1日は、こどもたちの精神面がとても気になるようになりました。「学校に行けたかな。」逆に「無理してストレスになっていないかな...」等々。

センターとして既に関わっているこどもであれば保護者と協力しながら丁寧にケアし、些細な変化を見逃さないように気に留めることができます。しかし関わっていないこどもたちも大勢います。改めて児童家庭支援センターの周知に力を入れていきたいと考えているところです。また、せめて関わっているこどもたちに対しては些細な変化に気付ける大人であること、こどもたちが成長して過去を振り返ることができるようになったとき、「出会えてよかった。」と思ってもらえる大人になれるよう職員一同努力してまいります。

のばこども家庭支援センター長

のばこども地域交流事業

サックスの演奏会をしました！

9/17(土)にサックスライブを開催しました。今回は、のばこども家庭支援センターを知ってもらいたい、落ち着いた環境で楽器の音色を楽しんで聞いてもらいたいという思いで、小学校4年生以上を対象に近隣の小中学校等に声をかけさせていただきました。

名探偵コナンやYOASOBI、ジブリ、バッハなど、様々な曲を演奏していただき、来てくれた方々もリズムに乗って、場を盛り上げてくれました(^-^)/



想 感 考 望

のばこども職員の
ひとりごと...

わたしは暑いのがとても苦手です。夏まっさかりの頃は、朝から晩まで暑いのが嫌で仕方なく、早く過ぎ去ってほしい、早く涼しくなってほしいと毎日願っていました。

ですが、いざ過ぎてみると「あつという間だったな...」と少し物悲しい気持ちにもなっている自分に気付きました。

大人になって無為に過ごす日が増え、子どもの頃のような密度の高い日々を過ごすことはあまりなくなってしまいましたが、ときには行き過ぎるのを見送るだけでない過ごし方を意識してみたいなと感じました。

のばこども日記

子育て短期支援事業
の様子を紹介(*^_^*)

のばこどもにはダーツボードが置いてあり、最近ではダーツを楽しんでいる子がちらほらと見受けられます。とにかく点数を取りたい子、中央の難しい場所を狙いたい子、職員に勝負を挑んでくる子、子どもたちはもっと上を目指したいと張り切って投げています。

ダーツはそもそもボードに当てること自体が難しい遊びです。にもかかわらず、少し練習しただけですぐにコツを習得し、次々と当てることのできる子どもたちには毎度感心させられます。思った通りに身体を動かす、うまくいかないと調整する、そのような器用さや柔軟さ、そして粘り強さに驚かされる毎日です。

絵本の紹介

いもほりやま

作・絵：山岡 みね
出版社：岩崎書店



秋と言ったらおいもほり！と思ってしまうくらい、私はお芋ほりが大好きです。

このお話は3兄弟がお芋ほりをしていると、末っ子のたけし君が、長いお芋のつるを見つけそれを辿っていきます。その先にどんなお芋が出てくるのかドキドキしていると、お芋が出てくる場所にもビックリ！思わず笑ってしまいます。読んだ後はお芋ほりに行きたい気分になり、焼き芋も食べたい気持ちになります。

のばこども家庭支援センター
☎045-840-5092



◆子ども本人及び子育て家庭の相談・支援◆
月曜日から土曜日まで（祝日、年末年始除く）
受付時間：9時～17時

